

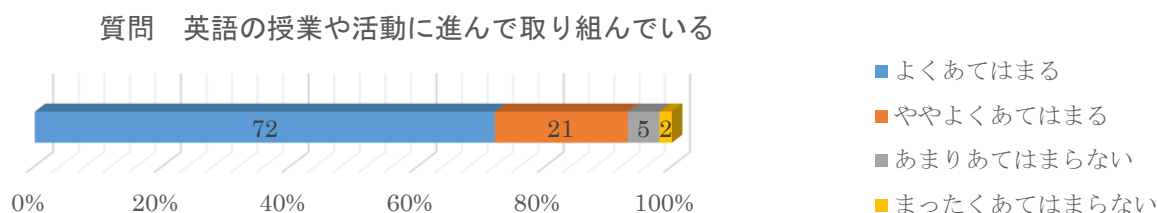
令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度児童向けのアンケートを行ったところ、「授業は、できたりわかったりすることが楽しい」という項目で「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」との回答が93%を占めた。

このことから、児童は「英語活動」を楽しんでいると言える。リズムカルにチャンツを行ったり、映像などから英語の意味や内容を汲み取ったりしながら、楽しく活動している。

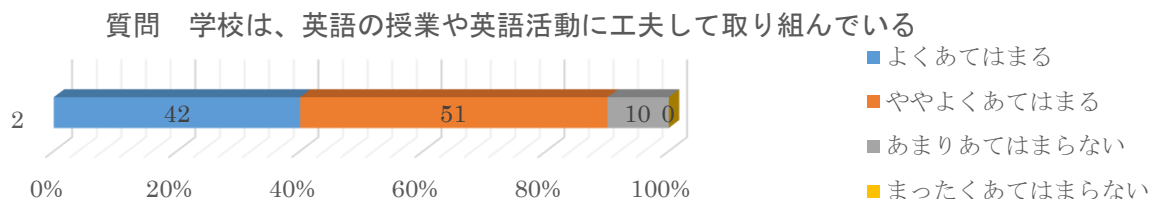
【資料1】学校教育診断（児童）の結果



2 学校関係者評価結果

保護者向けのアンケートを行ったところ、「学校は、分かる楽しい授業を目指し、英語の授業や英語活動に工夫して取り組んでいる」という項目に対し、93%の保護者から「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」と回答があった。また、「子供は授業が分かりやすいと言っている」という項目では「よくあてはまる」「ややよくあてはまる」の回答が82%だった。このことから、保護者も、児童が英語によく親しんでいるととらえていることが分かった。

【資料2】学校教育診断（保護者）の結果



学校評議員には、授業参観などを通して、英語に触れている児童の姿を参観する場を設け、楽しそうに英語を発音したりジェスチャーしたりして、英語に親しんでいる児童の様子を伝えることができ、有意義な時間になっているという感想をいただいた。

3 まとめ

資料1から、児童は日々のDVD視聴を楽しんでいることが伺える。また、英語活動を通じて英語で話されている内容を概ね理解できていることが分かった。

今後は、英語に親しむ気持ちを高めながら、高学年の外国語科の学習につながるように、英語活動を楽しませながら、内容の理解も深めていくことが課題である。